

海外コンベンションへのお誘い

赤いシリコンバレーにようこそ！

巨大な労働人口を抱えて世界のローコスト工場として急発展してきた中国が、あっという間に名目GDPで日本を追い越したのは2010年。

そして今や中国は米国と並ぶ先進テクノロジー国家として世界をリードする立場になっているのです。中国のAI、自動運転、フィンテックなどの先端領域に対するベンチャー投資の総額は既に米国を上回り、グローバル市場を意識した野心的な起業家がイノベーションを競い合っています。

その中心地である燃え盛る深圳・広東地域を、現地に精通した立教大学大学院の張輝先生の案内の下で共に歩むことは、イノベーションの最前線と激変する中国経済の実態に触れられる絶好の機会です。この貴重な体験は、私たちのビジネス感性をリセットさせ、大いなる啓発をもたらすはずです。



ビジネスモデル学会 会長 平野 正雄

現地活動スケジュール(仮)

2月5日(月)	午前：東京(羽田) → 広州 午後：広州 → 深圳 夕方、参加者内部懇親会	深圳 泊
2月6日(火)	(想定アクティビティ) - 中国版シリコンバレー・深圳ハイテク産業パークを訪問 - 華為(HUAWEI)をはじめ「中国イノベーション企業」を見学 - 中国最大のエレクトロニクス・マーケット「華強北」を視察 - 現地政府や企業関係者、現地日本人との情報交換会 (上記日程は現地調整の中で変更される場合もあり)	深圳 泊
2月7日(水)		深圳 泊
2月8日(木)	午前：深圳 → 広州 午後：広州 現地進出口系企業等を見学 夕方、参加者内部懇談会	広州 泊
2月9日(金)	午前：広州市 市場視察 午後：広州 → 東京(羽田) ※午後8時頃到着想定	

深圳について

中国における代表的な都市といえば、昔から北京市、上海市、広州市と取り上げられるが、近年は広州市と同じく広東省に位置される深圳市も加えられ、「中国四大都市」と称される。

「人類史上最速で成長する都市」ともいわれる深圳市は、東京都ほどの広さに人口30万人が住むさびれた漁村だった場所が、わずか30年ほどで人口1400万人を超え、今やGDPが香港を抜き、市の中心部は工場の街から金融とイノベーションの街に変化を遂げつつある。

1980年代、中国の「改革・開放」という国策の下で指定された中国初の経済特区として、ハイテク産業パークや大学サイエンスパーク、イノベーションセンターなどが多数創設されているのはもちろん、日本でもよく知られるファーウェイ（華為）やテンセント（騰訊）など著名な民間企業も本社を置く。昨今、深圳は国際的都市となりつつあると同時に、「デザインの都市」「ピアノの都市」「創業の都市」などとも言われ、中国で最もイノベーティブな都市2014ランキングの1位に入選（Forbes誌）。



世界第4位の高さを誇る中国平安保険の本社ビル・
平安国際金融中心



深圳の街並み

過去10回の海外コンベンション開催場所

2015年	カンボジア（シェリムアップ・プノンペン）	2010年	インドネシア（ジャカルタ）
2014年	パキスタン	2009年	モンゴル（ウランバートル）
2013年	ロシア（ウラジオストク）	2008年	シンガポール
2012年	ミャンマー（ヤンゴン）	2007年	インド（ニューデリー）
2011年	バングラディッシュ（ダッカ）	2006年	タイ（バンコク）

募集概要

開催日時：2月5日（月）～2月9日（金）

募集人数：15名

参加資格：ビジネスモデル学会 アカデミア会員・ビジネス会員

ご参加費用：25万円

本募集期間：12月1日（金）～12月22日（金）

※仮募集期間にお申込み頂かなくても、本募集期間にお申込み頂けます。

お申込み人数が多い場合は、仮募集期間にお申込み頂いた方を優先致します。

※本募集期間開始時に正式な旅行日程表・募集案内・旅行条件書・ツアー参加申し込み書をご案内致します。

※本企画の実施は旅行代理店にご協力頂き、ツアーとして実施予定です。

お申込み先／お問合せ先：convention@biz-model.org（担当：山本）

題名に「海外コンベンションの申し込み」と明記のうえ、

文面にお名前／所属／役職・お電話番号・メールアドレスを明記下さい。